

## 平成26年第3回教育委員会臨時会会議録

1 開会宣言 平成26年2月27日(木) 午後1時30分

2 場 所 三条市役所栄庁舎 201 会議室

3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、長谷川教育長

4 説明のための出席者

池浦教育部長、大平教育総務課長、久住子育て支援課長、高橋小中一貫教育推進課長、前澤教育センター長、金子生涯学習課長、丸山教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長

5 傍聴人 2人

6 議 題

(1) 議事

議第1号 平成26年度三条市一般会計予算(教育委員会所管分)について

議第2号 平成25年度三条市一般会計補正予算(教育委員会所管分)について

7 審議の経過及び結果

(1) 議事

議第1号 平成26年度三条市一般会計予算(教育委員会所管分)について

議第2号 平成25年度三条市一般会計補正予算(教育委員会所管分)について

前澤教育センター長、高橋小中一貫教育推進課長、大平教育総務課長、久住子育て支援課長、金子生涯学習課長から一括説明

(長沼委員長)

ただ今の説明で御質問、御意見はいかがでしょうか。

一ノ木戸小学校の児童クラブは70人想定スペースに100人の状態で活動しているわけですか。

(久住子育て支援課長)

児童クラブの専用室や職員室も結構広くつくったんですけども、そこも一緒に利用しながら、先ほど言った隣の地域交流室も活用しながら、約100人近くの子供たちが生活、活動しております。

(長沼委員長)

あんな広くてすごく十分だと思ったんですけどね。

(坂爪委員)

4ページの1番下のところに、四日町小学校の解体、あと第二グラウンドの整備と管理棟というようなことだったんですが、四日町小学校は解体して、その後にもまた校地整備をする

んでしょうか。

(大平教育総務課長)

四日町小学校をまず解体し、その後に間野川の排水路の調整池をつくることと並行しながら、グラウンド整備ということで第二グラウンド、テニスコースとソフトボール場を今つくる予定にしています。解体後、建設課のほうで調整池をつくって、同時進行でグラウンド整備をするという予定でいます。

(坂爪委員)

関連して、この前も車をグラウンドに入れさせてもらったんですが、一中と小学校の行事になると保護者の方がいっぱい入られるだろうと思います。駐車場不足になるとあそこを使うというような話があったんですが、ぜひ車が入ってもいいような状態にしていきたいと思います。経費がかかるんですが、そんなところをお願いしたいと思います。まあ、その後のことですのでまた考えておいていただければと思います。

(大平教育総務課長)

ソフトボール場については臨時駐車場として考えております。表面の土の質は駐車場に耐えられるような形で考えておりますので、イベント等は臨時駐車場としてソフトボール場を使えるようにしたいと思っています。

(坂爪委員)

その下の南小学校のグラウンドの改修、芝生化というようなこと、ナイター施設が6基だけありますね。全面のすごい広いグラウンドでナイターが使えるというようなことで、ぜひ検討して、芝生と野球場とか、例えば芝生化したときに有効に使えるような形で、小学校はもう使いませんので、多分ナイターが多いんじゃないかなあと。それから一中の生徒はグラウンドが使えないときは南小学校に来るんだろうと思いますので、そこらあたりもぜひ検討して使いやすいグラウンドにしてもらいたいと思います。

それからもう一つ、その上の井栗小と大浦小の芝生化とありますが、今までずっと芝生化を見てきてますと、トラックの中に芝生が入って、そこに1か所だけ鍵型に芝生の植えてないところがいっぱいあるんですよ。学校が使うんですから、そこでは多分、野球で小学生は使わないだろうと。一般の地域の方とか、それから小学校のクラブの野球が使っているんですね。セカンドベースのところだけ芝生がないというのも何か変ですので、ぜひトラックの中は全部芝生でもいいんじゃないかと思いますので、そこらあたりも検討していただきたいと思います。

(大平教育総務課長)

まず、南小学校のグラウンドの芝生化ですけども、今考えているのが、正規のサッカーコートに広さにし、そこは天然の芝生化をしようと考えております。活用形態としては一中の

部活で、サッカーで中心に使わせてもらうほかに、先ほどもお話ししましたけども、一般関係、高校生だったり、社会人であったり、夜間、ナイターがありますので、積極的に使っていたくような形で整備していきたいと思います。

若干、天然の芝なので維持管理部分の心配もしているんですが、維持管理の経費についても今回予算要求をさせてもらった中でしっかりと管理をしていきます。

それと、井栗小と大浦小のグラウンド改修と芝生化ですけども、今まで小学校は計画的にやっております。どうしてもその後の維持管理を考えると学校だけではできませんので、そこを使っている人たちから、肥料や水をまいたり、芝を刈ったりなどの協力をしていただいております。

そこで例えばソフトボールで使うとなると、坂爪さんが言われたように、ダイヤモンド部分に一部土で残したようなところもありました。ただ、その形を見た中で特に井栗小については、もうサッカーしかほとんど使っていない状況なので、きちっとした形でできると思っていますし、これからやる大浦小につきましても、できるだけトラック全面に芝生化ができるような形で調整をさせていただきたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

(渡辺委員)

3ページの(5)防災キャンプの実施について、こちらの写真入りの資料に大分詳しく書いてありますけど、これは新規事業という説明がありましたが、来年度は四中校区で継続的にやっていかれるのか、その辺はいかがでしょうか。

(高橋小中一貫教育推進課長)

まず、知識として防災教育を学ぶことはとても大事なことです。県の指定を受けて水害対応のモデルプログラムを去年、おとしと第四中学校区において編成をさせていただきました。そういう中で、第四中学校は今年、中学校区で家に帰った後の避難訓練をさせていただいたりして、学んだことと、いわゆる実践を練習、共有するような形でこの2年間過ごさせてもらいました。

そのような中で、洪水に対しての三条市のモデルプログラムができ、それが県のモデルプログラムとしても活用されるというような形になっている中で、来年はカリキュラムの編成とか、知識を学ぶということについては別な中学校区に移して、今年学んだ成果を実践に移してみるという形で第四中学校区でやってみたいということで考えています。もう少ししっかりとこの実践を積み重ねることによって継続するかどうかは決まるかと思いますが、現在のところ継続をしたい、それも学校区を動いていくのか、ある時期が来たときには三条市全体でやるのか、この辺については今のところ検討中ということで御理解いただきたいと思えます。

(須佐委員)

2ページのさんじょう一番星育成事業は大変素晴らしい事業だと思います。この中の①番のさんじょう学びのマルシェで、学びの一番星の国・数・英、これは難関大学受験のための部分だと思うんですけど、その3教科は決定ですか。というのは、国語はちょっとどうなのかなって、ちょっとよくわかんないんですけど、この辺いろいろな調査をもとにこの3教科が決まったのか、ちょっとその辺をお聞かせ願いたいんですけど。

(高橋小中一貫教育推進課長)

いわゆる一番星の学びのトップグループと申しますか、そういうことについての御質問だというふうに考えさせてもらいたいと思うんですが。それにつきましては、将来自分が一般的にいう難関大学に進みたい、進める学力を身につけておいたほうがいいのではないかと、力があっても難関大学に行かない人も立派だと私は思いますけれども、そういう、行きたいときに行ける学力を身につけるために、基礎的な国語、数学、英語について中学校の1年生と2年生、3年生がこのような形になったときに、それまで学んでいるスタイルやリズムがくずれると支障が生まれますので、1年生、2年生について塾へ委託をさせてもらって、しかもその塾については私ども1対1で委託をするというよりも、プロポーザルというような形で、私たちはこんな学力をつける子どもたちを育てたいのだが、どういうふうにできますかというような形の中で、基礎的な教科としての国語、数学、英語を塾に委託します。それも私どもとしてはかなり投資をして、いい教材、いい講師、いい指導法を求めていきたいなどというふうに考えているのがこの一番星事業のトップにあるものでございます。

(長沼委員長)

今、須佐委員がおっしゃられた国語については、子どもたち、受験する高校生なんかでも、国語の点数をどうやって上げたらいいんだっていうのは本当によく聞くんですね。理数系や英語はばっちりなんだけど、国語だけは問題を読んでもうちに終わっちゃうとかね。ですから、この早い時期の国語の勉強の仕方をプロがきちんと教えるっていうことはとってもいいと思います。何からやって、じゃあ本読みなさいって言っても中3じゃ遅いわけなんですよ。大学受験に備えてもこういう系統立ってやっていけば国語の授業は楽しい、有意義なものにできるということを教えていただければ、とっても私はいいなと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

(高橋小中一貫教育推進課長)

国語も数学も英語も学校でプロが指導している、その外づけとしてさらに足りない部分について、それがもしかすると今委員長がおっしゃられたように、問題を読んで解く力、それも一つの大事な力だと思いますので、そういう部分もありますけれども、学校においては本来の国語指導、数学指導、英語指導を十分に行わせていただいた上での外づけとしてというふうに御理解いただければと思います。

(長沼委員長)

そうだと思います。それで、とてもいいところが出てくる教科書の全部を読みたいとか、そういうこともきっと指導してくださるんじゃないかと思って期待しておりますので、よろしくお願いたします。

全員異議なく承認と決定

8 閉会宣言 午後2時15分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子